

キャラクター名  
不破 勇 (ふわ ゆう)

プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ		ワークス	傭兵	カヴァー	刑事
	モルフェウス					
オプション			年齢	26	性別	男
覚醒	憤怒	衝動	破壊	初期侵食率	43	%
出自	双子	経験	長期入院	邂逅	いいひと	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	29
肉体	3	1	0			4	行動値	3
感覚	3	0	0			3	(非装備時)	7
精神	1	0	0			1	戦闘移動	12
社会	1	0	0			1	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃	4		RC			交渉		
回避			知覚			意志	3		調達		
運転:	2		芸術:			知識:			情報: 軍事	3	
運転:			芸術:			知識:			情報: 警察	3	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
アサルトライフル	射撃	3r+3	-	9		同エンゲージのキャラを対象にできない
メタルスーツ	射撃	3r+2	-	12		1シナリオ1回まで使用できる
素手	白兵	4r+4	5	4		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
メタルスーツ		16	-3	-4	

所持品	

合計装甲: 16    合計回避: -3

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
秘密兵器	P	N		
不破 愛夢 (ふわ まゆ)	P 慈愛	N 偏愛		
白子深幸	P 信頼	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 2    残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ポルターガイスト	1	4	マイナー	至近	自身	自動	100	
効果: 所持している武器一つを選択。そのシーン中、行う攻撃の攻撃力を+[選択した武器の攻撃力]する。ただし、選択した武器は破壊される。								
デトナイトモード	1	3	オート	至近	自身	自動	120、破壊	
効果: 攻撃の直前に使用。その攻撃に使用する武器ひとつの攻撃力を2倍にする。あなたはこのメインプロセス終了後、HPを5点失い、使用した武器は破壊される。1シナリオLV回まで。								
アームズリンク	3	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果: 判定のダイス+LV個								
コンセントレイト:ブラックドッグ	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: C値-LV (下限値7)								
サイバーアーム	1	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 素手のデータを以下に変更。侵蝕率基本値+3。種別:白兵 技能:<白兵> 命中:0 攻撃力:+[LV+3] ガード値:5 射程:至近								
ウェポンマウント	1	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果:<アサルトライフル> 常備化ポイントが[LV*5+5]以下の武器を一つ常備化する。選択したアイテムはイニシアチブで装備、所持の切り替えができる。侵蝕率基本値+2								
タッピング&オンエア	★							
効果:								
セキュリティカット	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

「オーヴァードなんてものは間違った進化の形……人類の敵だ」

PMCに所属するオーヴァード嫌いの男。尚、彼もオーヴァードである。傭兵として、オーヴァードとしての戦闘能力は優れているものの、ジャームとの戦闘中に保管されていた秘密兵器を無断使用したり、UGNと衝突するなど、問題行動を繰り返していた。現在はPMCの社長の伝手からR担に左遷されており、前線から弾かれている。本人は不服を漏らすことは多いものの、根が真面目であることもあって事件の捜査やパトロールに準じている。

オーヴァードは人間の誤った進化と称し忌み嫌っている。特にジャームに対して容赦はなく、PMC所属の時には命令に反してジャームを殺害することも度度あった。ただ、平穩に日常を過ごしているオーヴァードに対してその嫌悪を表に出すことはない。積極的に関わる気はないものの、彼らに危害を掛けようという意志はない。R担に左遷されてからは上司の嫉の甲斐もあってか、UGNと衝突することはめっきり減り根み言を吐くことはあっても、噛みつくようなことははなくなっている。

高校生の頃、大量のジャームの群れによって学校が襲われる。彼はその時死に物狂いで校舎から逃げ出しており、現場に駆け付けたUGNエージェントによって保護された。ただ、彼以外の生徒、教員は死亡・行方不明となっていた。病院に搬送されてからは一時期事件の恐怖から放心状態になり、誰の言葉も耳に入らないような状態になっていた。だが、世界の真実を知らされ、学校を襲ったのがジャームという存在であることを聞いた時、抱えていた恐怖を上回る怒りが込み上げてくる。その怒りが、オーヴァード化しつつあった彼を完全にオーヴァードへと覚醒させる。その後、病院を脱走して行く宛もなくそこ辺を歩き回っていた。そんな頃、餓えに耐えかねてゴミを漁っていたところで現在の雇用主と出会い、彼に引き取られる。